



PDS Audit Tool

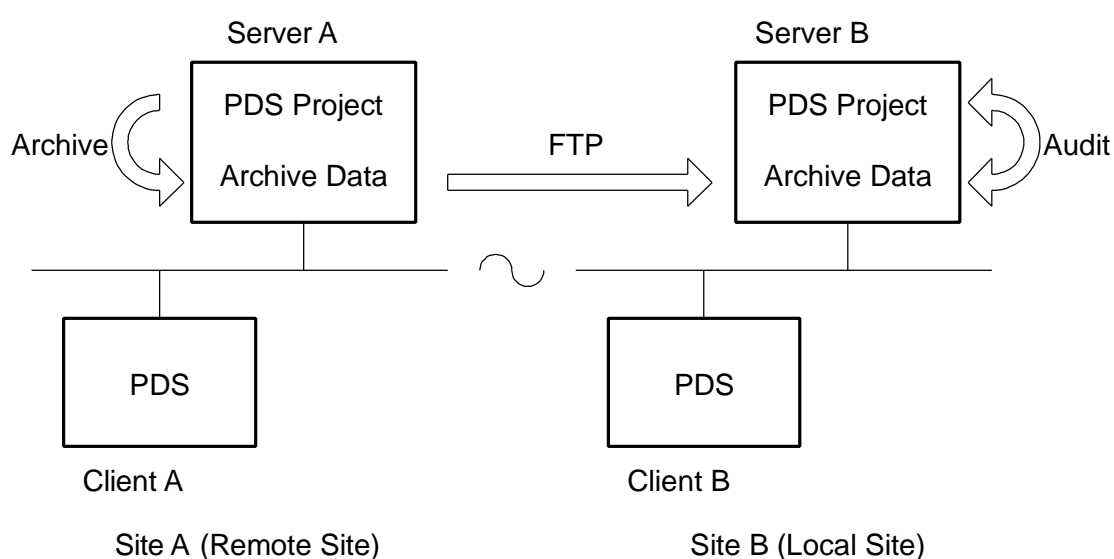
Table of Contents

1	Audit Tool	2
2	Audit	3
2.1	Audit モード	3
2.2	Reference Data	3
2.3	Audit Report	4
2.4	Audit Configuration ファイル	4
3	各 audit モードに共通の操作	5
3.1	Open Audit Configuration	5
3.2	Save Audit Configuration	5
3.3	Remote Communication Setup	6
3.4	Batch Job Time Set	7
4	Audit の実行	10
4.1	File Transfer	10
4.2	Audit Mode 1	11
4.3	Audit Mode 2	11
5	Audit Report Viewer	13
5.1	View Audit Report	13
5.2	View Batch Log	16

1 Audit Tool

Audit Tool は、稼働中の PDS プロジェクトと、PDS のプロジェクトアーカイブデータとの間で、リファレンスデータ(RDB)の整合性を audit (検査)するためのユーティリティです。2つのリファレンスデータに不一致があった場合、その内容を表示します。

Audit Tool には、ネットワーク接続されたマシンから、audit に使用するためのアーカイブデータを収集(FTP)する機能があります。この機能により、PDS を使用する 2 つのサイト間で、リファレンスデータの整合性を検査することが可能になります。



2 Audit

Audit Tool による、アーカイブデータのファイル転送、リファレンスデータの整合性の検査は、バッチジョブとして実行されます。バッチジョブを発行する際、audit のモードの指定、および audit を行うリファレンスデータの選択を行います。Audit の結果は、Audit Report と呼ばれるファイルに記録されます。

2.1 Audit モード

Audit は、以下の 3 つのモードにより実行することができます。

- File Transfer
リモートサイトから、アーカイブデータのファイル転送を行います。
- Audit Mode 1
リモートサイトからのアーカイブデータのファイル転送を行った後、ローカルサイトの PDS プロジェクトとの間で audit を行います。
- Audit Mode 2
ローカルサイトに存在するアーカイブデータと PDS プロジェクトとの間で audit を行います。

2.2 Reference Data

Audit は、以下の各リファレンスデータごとに行うことができます。バッチジョブを発行する際、audit を実行する項目を選択します。

Piping Job Specification Database
Piping Job Spec Table Library
Graphic Commodity Library
Physical Data Library
Piping Assembly Library
Short Material Description Library
Long Material Description Library
Specialty Material Description Library
Standard Note Library
Label Description Library
Project Seed Files
Project Database Tables
Raceway Reference Database
Equipment Eden Library

Raceway Eden Library
Project Database DDL

2.3 Audit Report

Audit の結果は、Audit Report ファイルに記録されます。Audit Tool 内の Audit Report Viewer を使用して、このファイルの確認を行うことができます。アーカイブデータと PDS プロジェクトのリファレンスデータに不一致があった場合、その部分が色付きの文字で表示されます。以下の 4 つの基準により、表示を行うことができます。

- View All
Audit Report ファイルに記録された内容を全て表示します。
- Record in Local Dataset, Not in Remote Dataset
ローカルサイトの PDS プロジェクトに含まれ、リモートサイトのアーカイブデータに含まれないリファレンスデータが色付きの文字で表示されます。
- Record in Both Dataset, but Different
ローカルサイトの PDS プロジェクト、リモートサイトのアーカイブデータの両方に含まれ、設定が異なるリファレンスデータが色付きの文字で表示されます。
- Record in Remote Dataset, Not in Local Dataset
リモートサイトのアーカイブデータに含まれ、ローカルサイトの PDS プロジェクトに含まれないリファレンスデータが色付きの文字で表示されます。

2.4 Audit Configuration ファイル

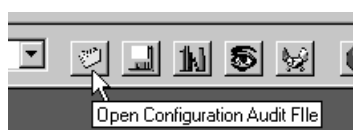
Audit モードや、audit を実行するリファレンスデータの選択などの設定を、Audit Configuration ファイルに保存しておくことができます。Audit を定期的に繰り返して実行する際には、以前保存しておいた Audit Configuration ファイルを使用することができます。

3 各 audit モードに共通の操作

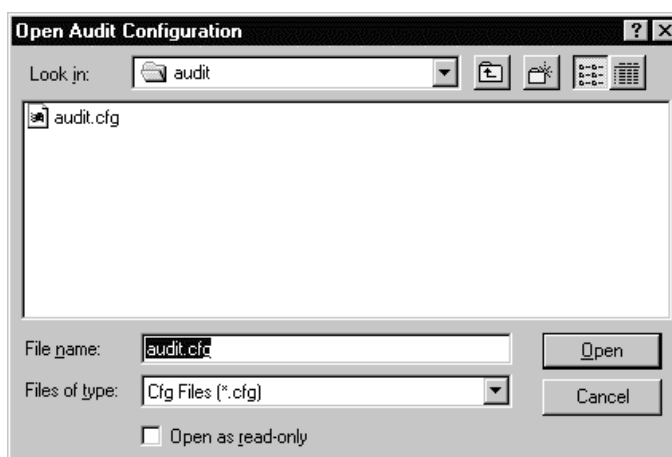
以下の操作方法は、3 つの audit モードで共通に使用します。

3.1 Open Audit Configuration

以前保存した Audit Configuration ファイルを開きます。File メニューの Open Audit Configuration, またはツールバーの **Open Configuration Audit File** ボタンを選択します。

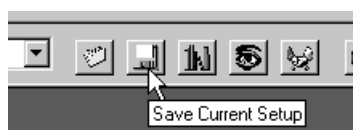


Open Audit Configuration ダイアログボックスが表示されます。Audit Configuration ファイルを選択し、**Open** ボタンを選択します。

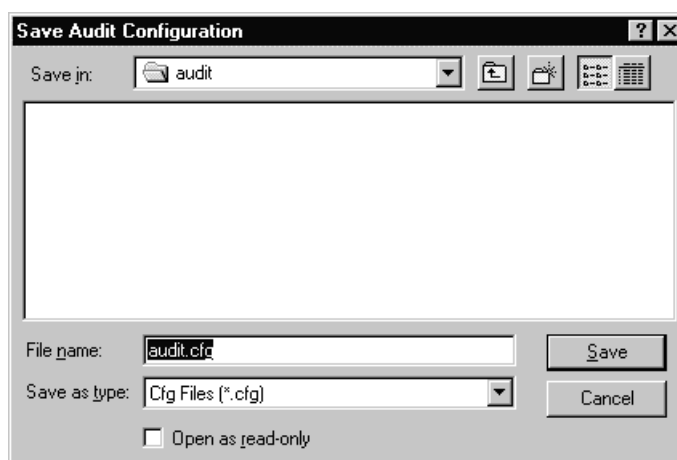


3.2 Save Audit Configuration

Audit モードや、audit を実行するリファレンスデータの選択などの設定を、Audit Configuration ファイルに保存します。Audit のバッチジョブを発行する際には、必ずこのコマンドを実行します。File メニューの Save Audit Configuration, またはツールバーの **Save Current Setup** ボタンを選択します。



Save Audit Configuration ダイアログボックスが表示されます。Audit Configuration ファイルを保存するフォルダを選択します。ファイル名を入力し、**Save** ボタンを選択します。

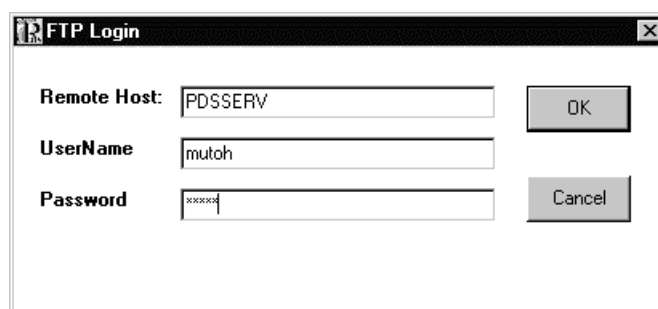


3.3 Remote Communication Setup

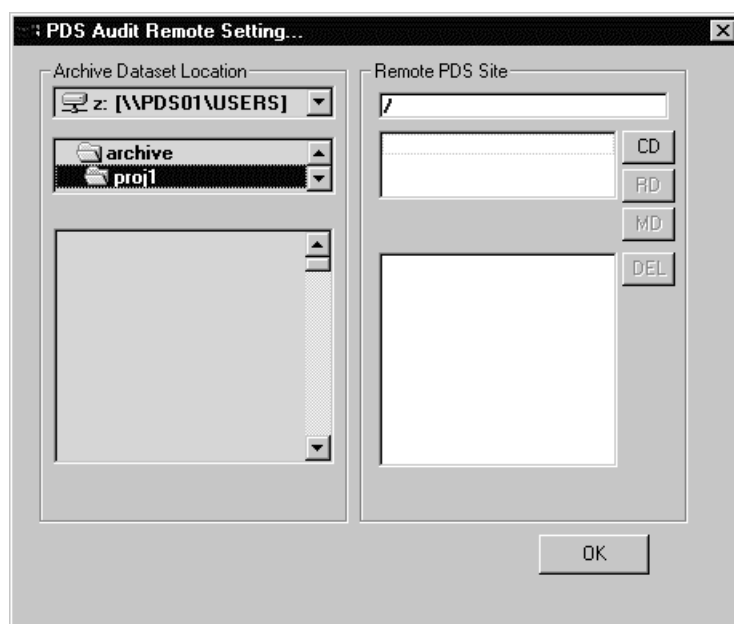
ファイル転送(FTP)を行う際の設定を行います。Audit Setup ダイアログボックスで File Transfer または Audit Mode 1 を選択すると、FTP Login ダイアログボックスが表示されず(Audit Setup ダイアログボックスのバックグラウンドに隠れている場合があります)。FTP Login ダイアログボックスが表示されていない場合は、ツールバーの **Remote Communication Setup** ボタンを選択します。



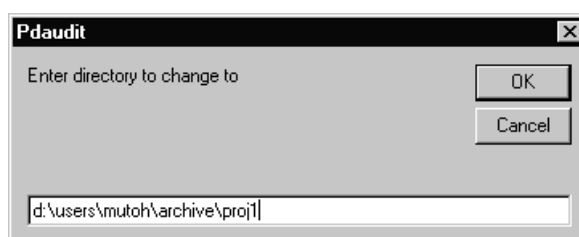
Remote Host に対して、ファイル転送元のマシンの名前を入力します。UserName/Password に対して、FTP を行う際に使用するユーザアカウント/パスワードを入力し、**OK** ボタンを選択します。



PDS Audit Remote Setting... ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックス左側の Archive Dataset Location により、PDS アーカイブデータを保存するフォルダを選択します。



ダイアログボックス右側(Remote PDS Site)の **CD** ボタンを選択します。Pdaudit ダイアログボックスが表示されます。転送元の PDS アーカイブデータが存在するディレクトリ名を入力し、**OK** ボタンを選択します。PDS Audit Remote Setting... ダイアログボックスに戻り、**OK** ボタンを選択します。

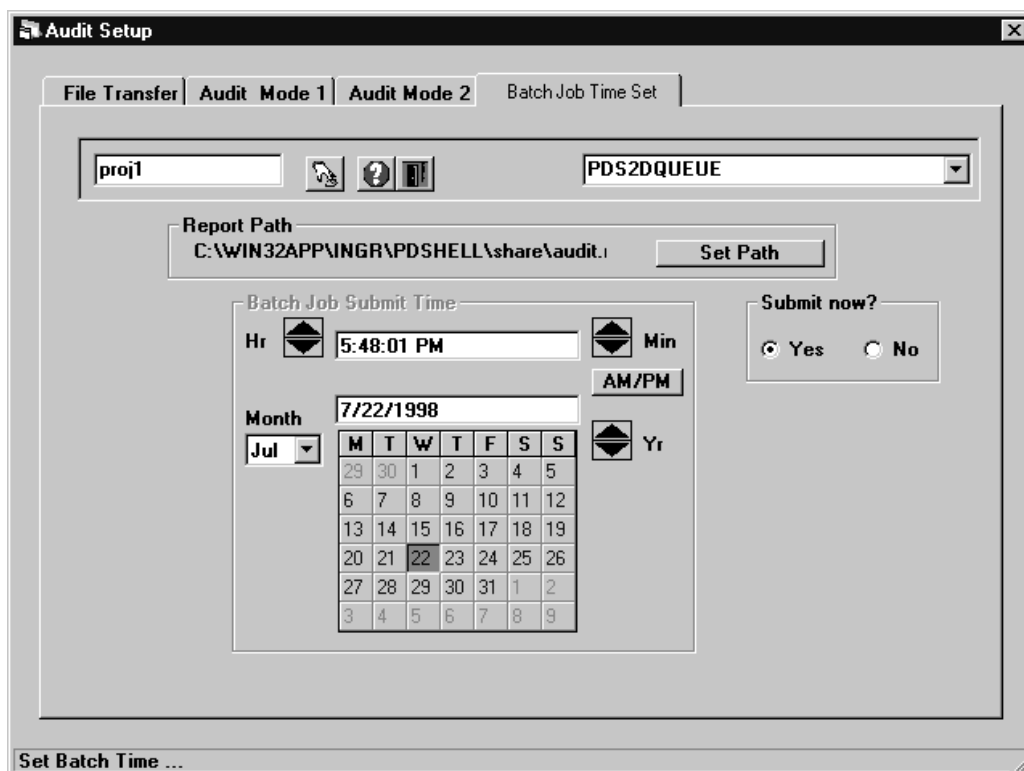


3.4 Batch Job Time Set

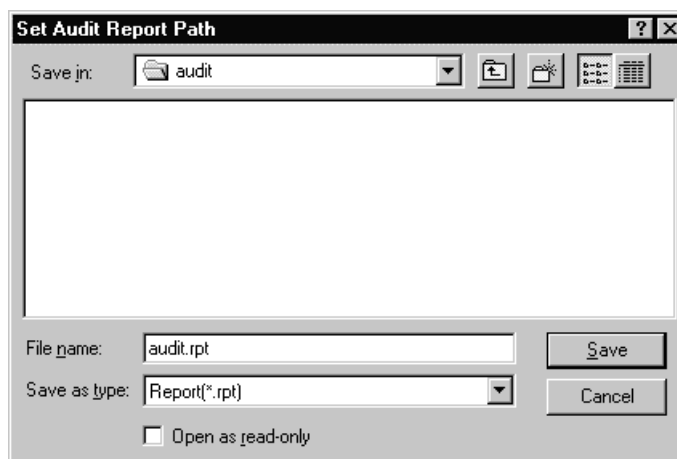
Audit のバッチジョブを発行する際に使用します。バッチジョブの開始時刻、Audit Report ファイルのパス名の指定を行います。Audit Setup ダイアログボックスで、Batch Job Time Set タブ、または **Launch the Batch Job** ボタンを選択します。



以下のようなダイアログボックスが表示されます。



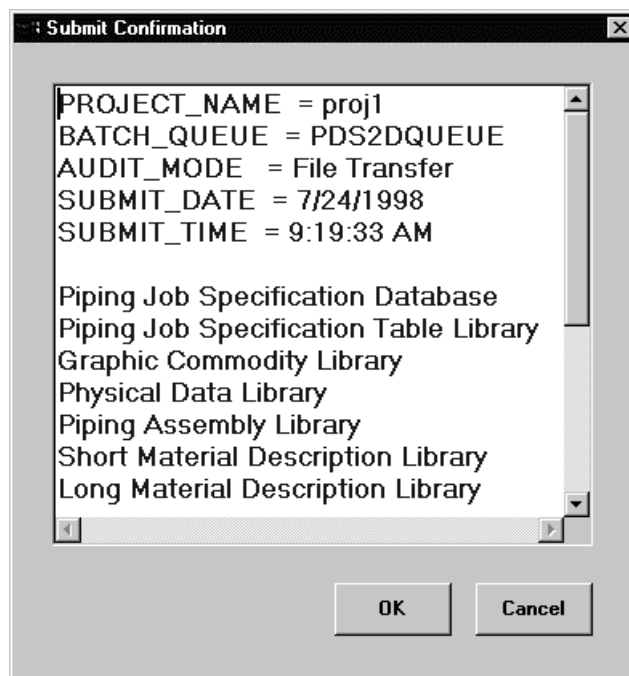
Set Path ボタンを選択すると、Audit Report ファイルのパス名を指定することができます。



Audit Report ファイルを保存するフォルダを選択します。ファイル名を入力し、**Save** ボタンを選択します。Audit Setup ダイアログボックスに戻ります。

Submit now?に対して No を選択すると、バッチジョブを開始する時刻を設定することができます。

Audit Report ファイル、バッチジョブの開始時刻の指定を行った後、再び **Launch the Batch Job** ボタンを選択すると、Submit Confirmation ダイアログボックスが表示されます。



設定内容を確認します。**OK** ボタンを選択すると、バッチジョブが発行されます。

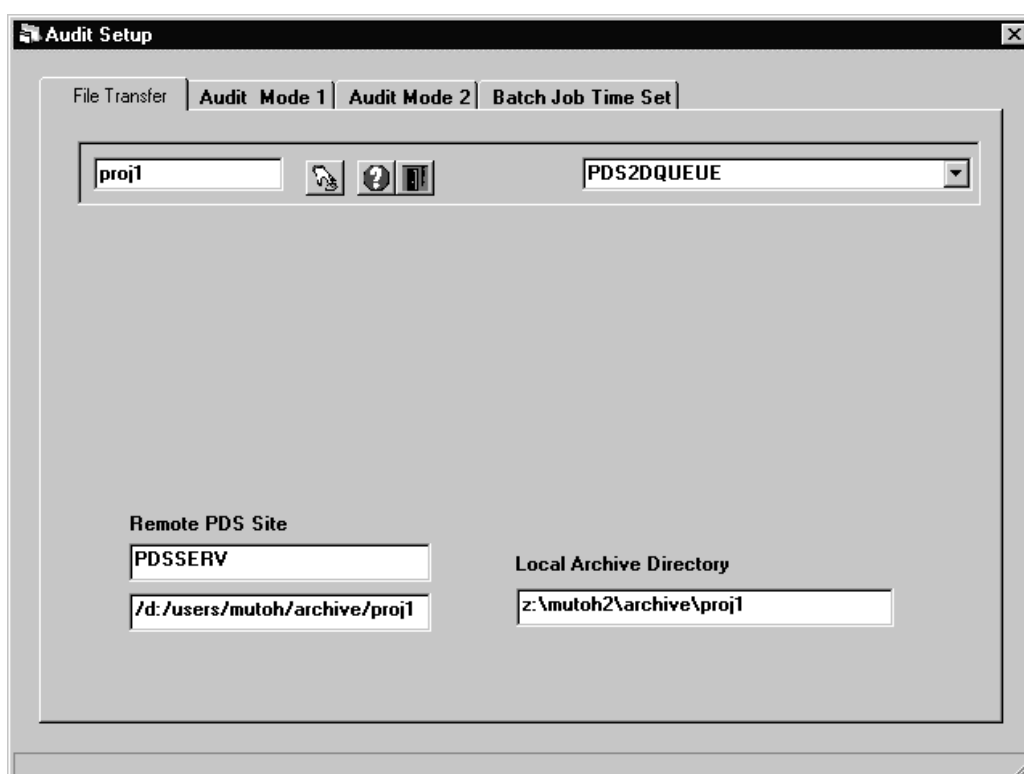
4 Audit の実行

各モードで audit を実行する際の操作手順を示します。Audit Tool を起動し、audit の対象とする PDS プロジェクトを選択した後、Audit メニューの Audit Setup またはツールバーの **Audit Setup** ボタンを選択します。



4.1 File Transfer

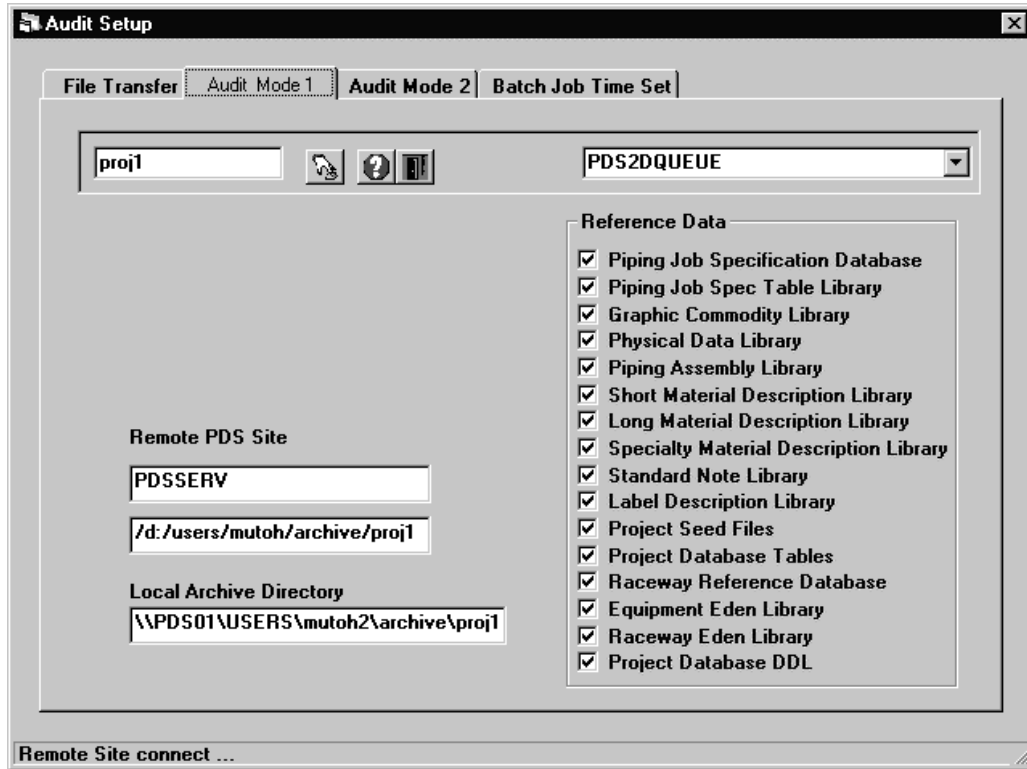
このモードでは、リモートサイトから、アーカイブデータのファイル転送を行います。Audit Setup ダイアログボックスの File Transfer タブを選択します。



ツールバーの **Remote Communication Setup** ボタンにより、アーカイブデータの転送元および転送先を指定します。ツールバーの **Save Current Setup** ボタンを選択し、現在の設定を Audit Configuration ファイルに保存します。その後、**Launch the Batch Job** ボタンまたは Batch Job Time Set タブにより、Audit Report ファイル/バッチジョブの開始時刻を指定します。Batch Job Time Set タブで **Launch the Batch Job** ボタンを選択し、バッチジョブを発行します。

4.2 Audit Mode 1

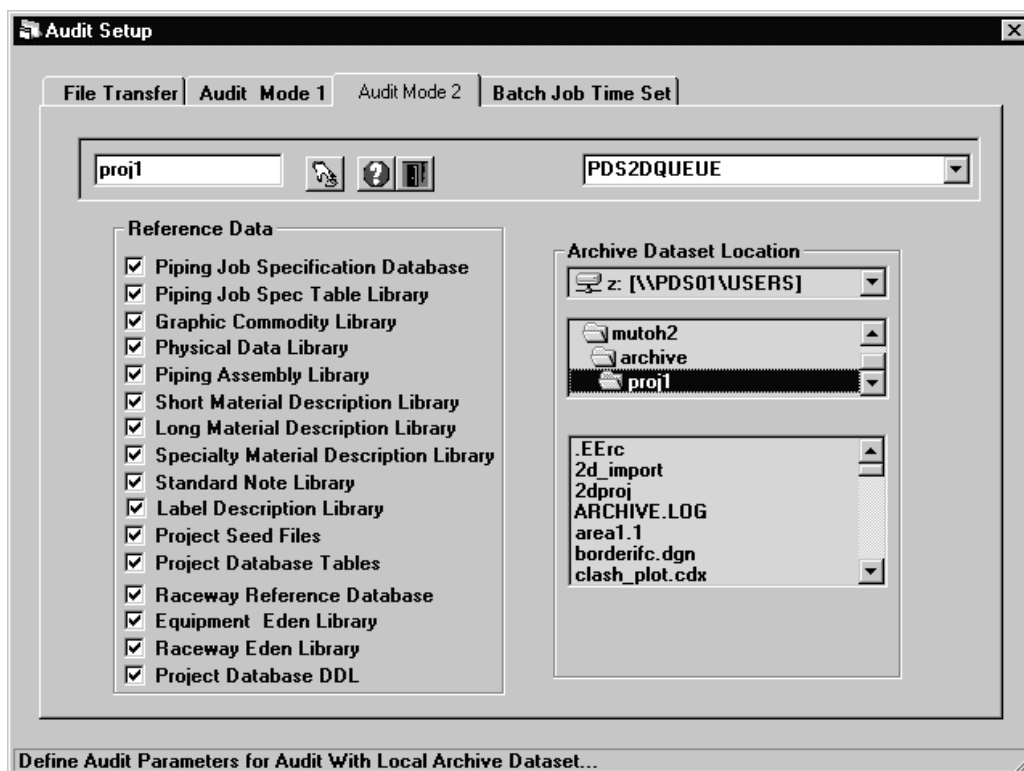
このモードでは、リモートサイトからのアーカイブデータのファイル転送を行った後、ローカルサイトの PDS プロジェクトとの間で audit を行います。Audit Setup ダイアログボックスの Audit Mode 1 タブを選択します。



ツールバーの **Remote Communication Setup** ボタンにより、アーカイブデータの転送元および転送先を指定します。ダイアログボックス右側の Reference Data リストから、audit を行うリファレンスデータを選択します。ツールバーの **Save Current Setup** ボタンを選択し、現在の設定を Audit Configuration ファイルに保存します。その後、**Launch the Batch Job** ボタンまたは Batch Job Time Set タブにより、Audit Report ファイル/バッチジョブの開始時刻を指定します。Batch Job Time Set タブで **Launch the Batch Job** ボタンを選択し、バッチジョブを発行します。

4.3 Audit Mode 2

このモードでは、ローカルサイトに存在するアーカイブデータと PDS プロジェクトとの間で audit を行います。Audit Setup ダイアログボックスの Audit Mode 2 タブを選択します。



ダイアログボックス左側の Reference Data リストから、audit を行うリファレンスデータを選択します。ダイアログボックス右側の Archive Dataset Location により、アーカイブデータが保存されているフォルダを選択します。ツールバーの **Save Current Setup** ボタンを選択し、現在の設定を Audit Configuration ファイルに保存します。その後、**Launch the Batch Job** ボタンまたは Batch Job Time Set タブにより、Audit Report ファイル/バッチジョブの開始時刻を指定します。Batch Job Time Set タブで **Launch the Batch Job** ボタンを選択し、バッチジョブを発行します。

5 Audit Report Viewer

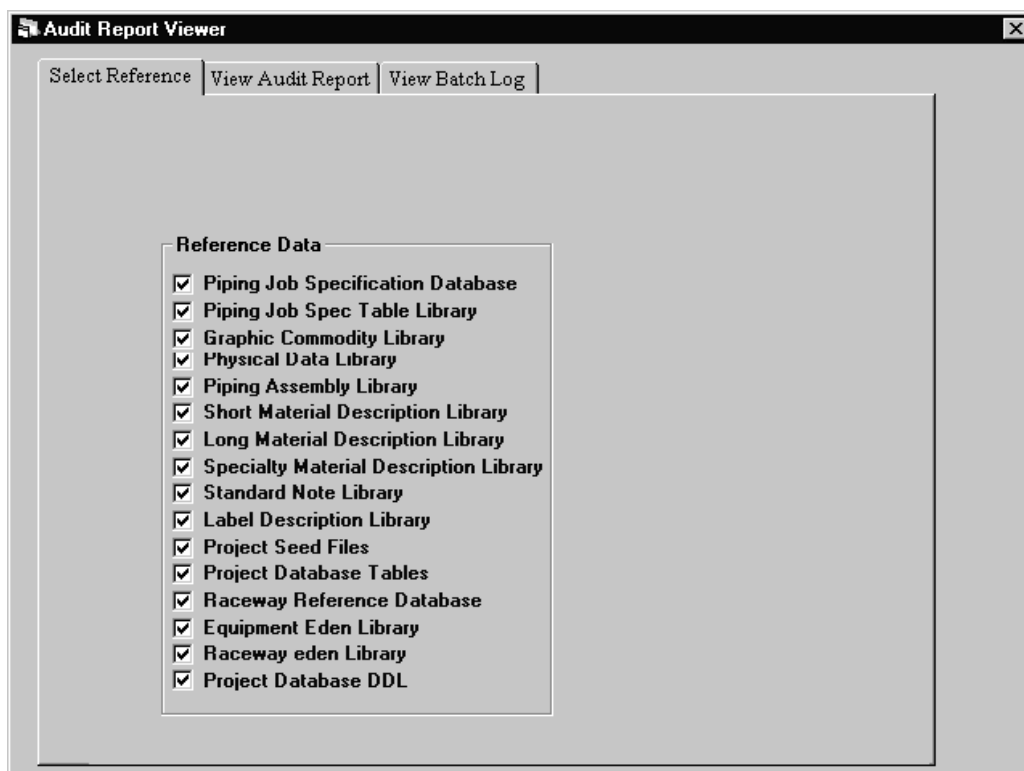
Audit の結果は、Audit Report ファイルに記録されます。Audit Report Viewer を使用して、このファイルの確認を行うことができます。アーカイブデータと PDS プロジェクトのリファレンスデータに不一致があった場合、その部分が色付きの文字で表示されます。

5.1 View Audit Report

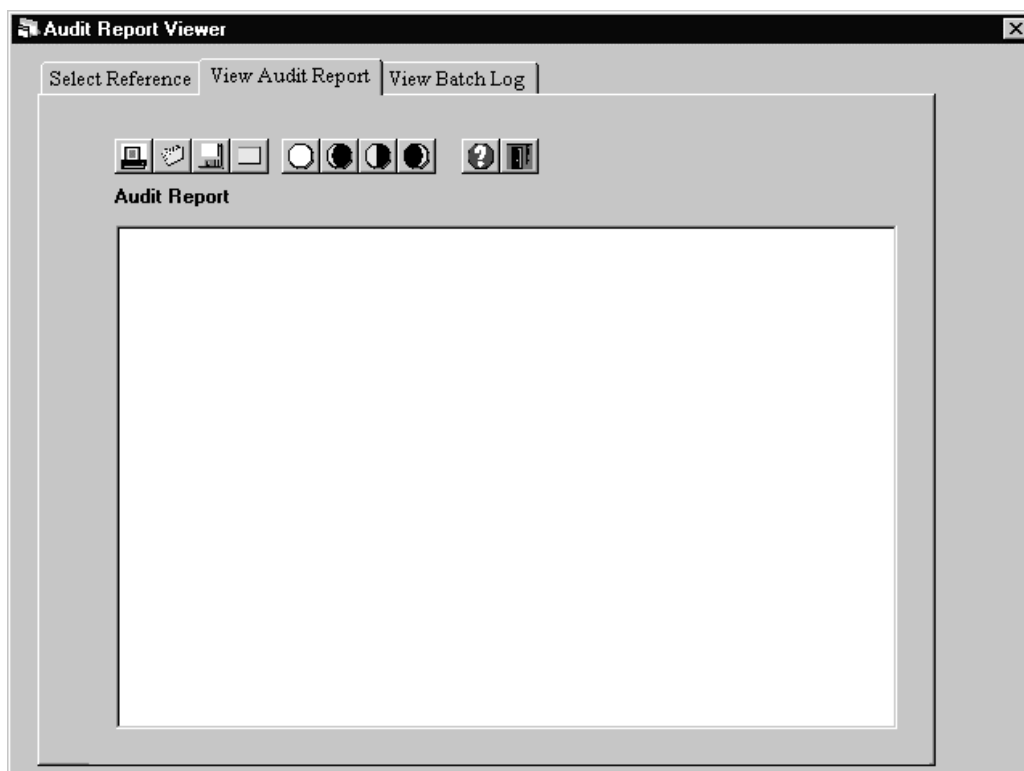
Audit Report ファイルの内容を表示し、audit の結果を確認します。Audit メニューの Report Viewer またはツールバーの **Audit Report Viewer** ボタンを選択します。



Audit Report Viewer ダイアログボックスが表示されます。Select Reference タブ(デフォルト)で、audit 結果の確認を行うリファレンスデータを選択します。



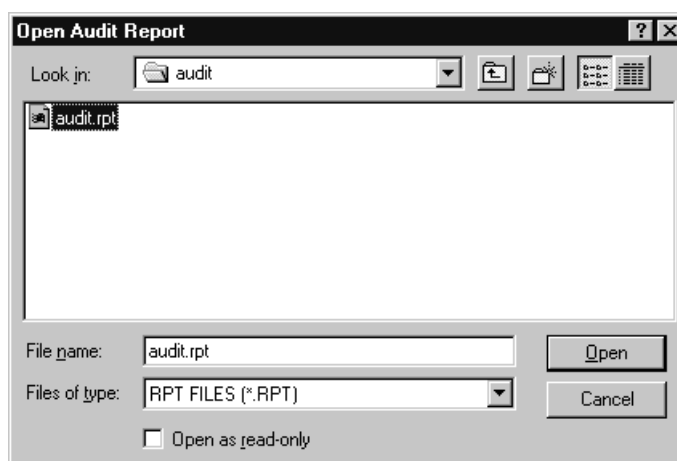
View Audit Report タブを選択します。



Open Audit Report ボタンを選択します。



Open Audit Report ダイアログボックスが表示されます。



Audit Report ファイルを選択し、**Open** ボタンを選択します。

Audit の結果は、以下の 4 つの基準により表示を行うことができます。

- View All

Audit Report ファイルに記録された内容を全て表示します。リファレンスデータの不一致部分は、以下の 3 つの基準と同様に、赤/青/緑の文字で表示されます。



- Record in Local Dataset, Not in Remote Dataset

ローカルサイトの PDS プロジェクトに含まれ、リモートサイトのアーカイブデータに含まれないリファレンスデータが赤い文字で表示されます。また、行頭に“1,”と表示されます。



- Record in Both Dataset, but Different

ローカルサイトの PDS プロジェクト、リモートサイトのアーカイブデータの両方に含まれ、設定が異なるリファレンスデータが青い文字で表示されます。また、行頭に“2,”と表示されます。



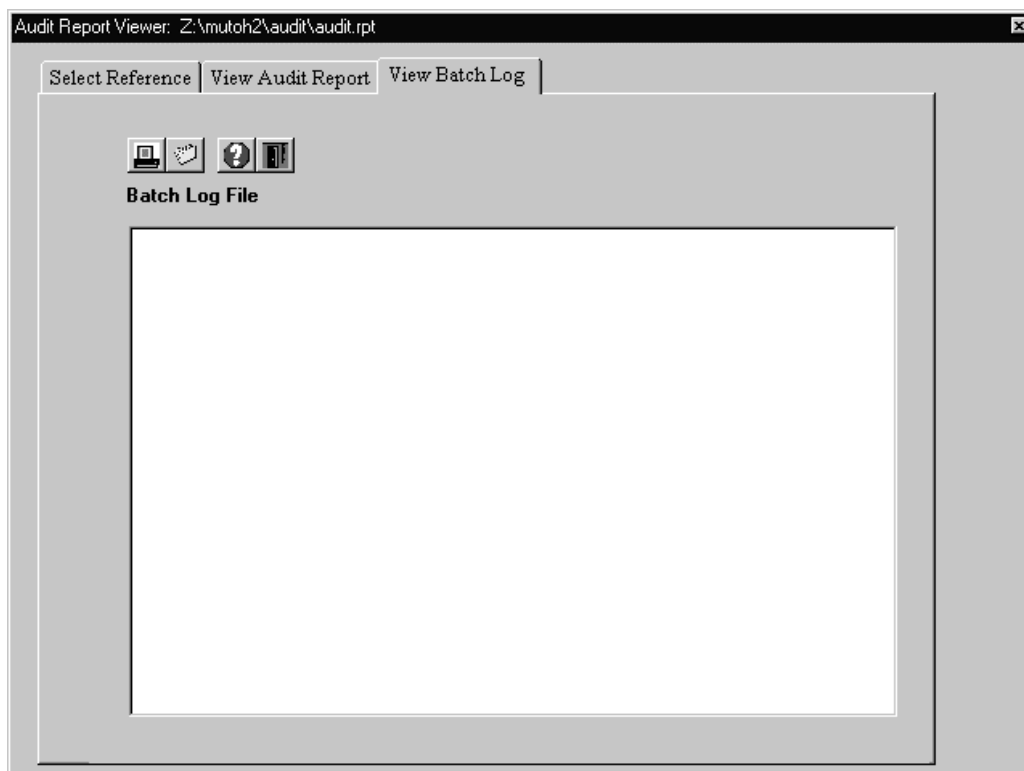
- Record in Remote Dataset, Not in Local Dataset

リモートサイトのアーカイブデータに含まれ、ローカルサイトの PDS プロジェクトに含まれないリファレンスデータが緑色の文字で表示されます。また、行頭に“3,”と表示されます。

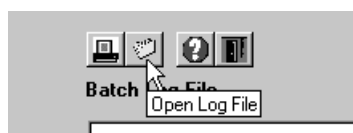


5.2 View Batch Log

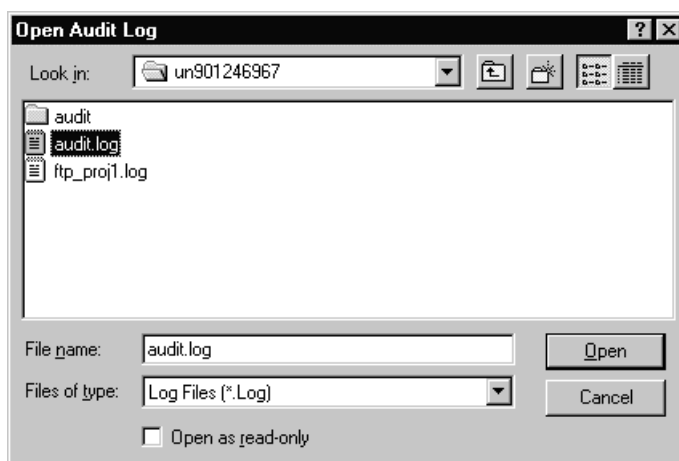
Audit のログファイルを開き、バッチジョブが正常に実行されたかどうかを確認することができます。Audit Report Viewer ダイアログボックスの View Batch Log タブを選択します。



Open Log File ボタンを選択します。



Open Audit Log ダイアログボックスが表示されます。C:\temp フォルダの内容が表示されます。un#####フォルダ(#は数字)の中から、ログファイルを選択し、**Open** ボタンを選択します。ログファイルの名前は、Audit Configuration ファイルのファイル名に.log を付加したものになります。また、ftp_xxxx.log ファイルには、FTP によるファイル転送のログが記録されています。



ログファイルを選択し、**Open** ボタンを選択します。以下のように、ログファイルの内容が表示されます。

